

今回はとても大きな「トンボ」の登場です！

日本最大のトンボは「オニヤンマ」で、体長は10 cm程度もあります。

(ちなみにシオカラトンボの体長は5 cm強と、半分くらいです)

一方、「コオニヤンマ」という種もありますが、名前からして“小さめのオニヤンマ”といったところでしょうか...

こちらも体長は9 cm程度と大きいです。

でも...

この2種は、“黒と黄色の縞模様”という体色や大きさこそ似ているものの、実際は“他人の空似”と言ってもいいくらい、体の作りは異なっているのです。

写真 ・ ： オニヤンマ

日本最大のトンボで、「オニヤンマ科」に分類されています。

人を恐れることなく、悠然と水辺や林道上をパトロールする姿は、まさにトンボの王様と言えるでしょう。

ヤゴの期間は3～5年とも言われ、それだけ長い間、安定した水辺環境が必要となります。

写真の個体は、花が終わった「クガイソウ」にとまっているところを撮影しました。(金剛山頂付近)

“トンボのめがね♪”は美しいエメラルドグリーンですが、一体何を見ていたんでしょうね...

写真 ・ ： コオニヤンマ

日本最大の“サナエトンボ”で、「サナエトンボ科」に分類されています。

(「ヤンマ」という名が付いていますが、分類上は「ヤンマ科」でも「オニヤンマ科」でもないのです...)

本種の特徴は、大きな体に比してかなり小さな頭部、それと極端に長い後肢です。ヤゴの期間は2～3年と言われ、「オニヤンマ」よりは短いものの、やはりそれだけ長い間、安定した水辺環境が必要となります。

写真の個体は、金剛山麓の水田付近で撮影したものです。

これらの大型種がいつまでも生息できる環境を守りたいものですね。







